



あさひ台

学 校 報
第 4 6 8 号
R 2 . 5 . 8
五城目小学校

「つなぐ」「ひらく」「つくる」1年に…

昭和42年4月、五城目小学校に入学しました。校舎は完成したばかり、できたてほやほやの学校に初めての1年生として入学したことになります。ここあさひ台の校舎も、今年で53年目を迎え、間もなくその任が解かれることになりました。この校舎に1年生として入学し、新たな校舎へと子どもたちの輝く笑顔や確かな学び、多くの卒業生や地域の方々の思い、五城目小学校のよさを引き継いでいくことに運命的なものを感じてしまいます。



昭和42年4月、入学式

当時の様子に少し触れてみたいと思います。

1年生と2年生は、今の「すずむし」や「わかすぎ」のある低学年昇降口から入りました。そのころは、各学年とも1組から4組までの4学級ずつでしたので、どの棟も全て教室4つ分の構造になっています。すぎの子広間（和室）やパソコンルームは、児童数が減少して教室が空いたことで有効に活用されるようになった元教室です。昭和42年の児童数は975名、登下校時の混雑や早い下校時間を考えて、3年生以上の子どもたちと昇降口を分けていたことになります。ちなみに、現校舎になって児童数が一番多かったのは昭和45年（1970年）で児童数は1097名（30学級）、今年度の児童数が275名ですので、今の学校規模だと4校分くらいの児童数だったことが分かります。5組まであったのですが、教室がなかったため、図書館奥の教材室（当時は第一理科室）などが教室として使用されていました。

ところで、校歌の2番にこんな歌詞があるのはご存じでしょうか。

「♪ゆるぎなく／窓にそびえる森山は／鍛えて強いわが力♪」

どうでしょう、教室の窓にそびえる森山をイメージすることはできますか?! 教室の窓から見えるのは、校歌とは逆の町の方を見下ろす景色です。

実は、このあさひ台（羽黒前）に引っ越すまでは、新畑町（J Aあきた湖東のあるあたり）に学校がありました。木造の校舎、木の廊下や階段などが目に浮かんできます。教室の窓からは、そびえる森山を臨むことができました。

長い時を経て、校歌に導かれるように校舎は場所を移します。どの学年の教室からも「窓にそびえる森山」を全身で感じることはできます。雀館公園側には、理科室などの特別教室が並びます。改築工事はコンクリート打設がほぼ完了し、予定通りに進んでいるそうです。

最後に、学校教育目標について触れてみたいと思います。今年度は「夢高く 心たくましく 学び合う五小の子 ～つなぐ ひらく つくる～」としました。「つなぐ」には、「学校の歴史をつなぐ」「学校と地域をつなぐ」「地域の文化をつなぐ」「人と人をつなぐ」という思いを込めています。「ひらく」には、「拓く」と「開く」の意味を重ね、「自分たちの未来をひらく」「学校の歴史をひらく」「学校を地域にひらく」という思いを、「つくる」には、「創る」「作る」から未来や希望がイメージできるように、「新たな可能性や夢をつくる」「学校と地域の新たなつながりをつくる」「学校の新たな歴史をつくる」という思いを託しました。

創立146年の歴史と伝統ある学校であり、ここあさひ台の校舎から新たな校舎へと、子どもたちのたくさんの思いを「つなぐ」「ひらく」「つくる」1年にしていかなければなりません。これからの行事や学習の姿を見直し、工夫することで、確かな学びを支える「学ぶ意欲」を育むとともに、お世話になった校舎に感謝の思いを伝えていきたいと考えています。

社会情勢を踏まえた学習活動となりますので、地域の皆様、保護者の方々のお力をこれまで以上にお借りすることになります。よろしくお願いいたします。



行事予定

- 7日(木) 開校記念日(146周年)
11日(月) 心電図検査(1・4年)
12日(火) 眼科検診
13日(水) 3年校外学習
聴力検査(1年・2年・4-2)
14日(木) 聴力検査(3年)
15日(金) 聴力検査(6-1・5年・あさひ・わかあゆ)
18日(月) 聴力検査(6-2)
19日(火) 聴力検査(4-1)
20日(水) 職員会議
21日(木) 尿検査② 歯科検診(1・3・6年)
27日(水) 児童委員会
28日(木) 避難訓練①
田植え体験(5年)
29日(金) 耳鼻科検診(2・5年)



※行事は変更になる場合もあります。

